

解答範囲は、解答番号  から  までです。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

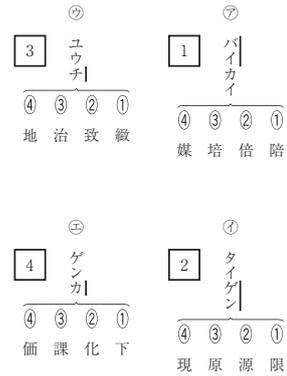
【引用部分は削除しています】

(四方田犬彦「サレ・エ・ベベ 塩と胡椒」による)

(注) ○ラングⅡ言語学者ソシュールの用語。同一言語を用いる個々人の言語活動を支える社会制度・規則の体系としての言語。○パロールⅡ制度化された体系としての言語であるラングに対し、特定の時、特定の場で個人が具体的に使用するものとしての言語。○パツテラⅡサバを使った大阪の伝統的な踊り。○錦小路Ⅱ京都の中心部を東西に走る通りで、食品専門店が建ち並ぶ市場として知られている。○アソートテッドⅡ「種々の」「盛り合わせの」を意味する英単語。○ハレとケⅡ民俗学や文化人類学で用いられる概念で、ハレは年中行事や神事などの特別な機会を指し、ケはそれ以外の日常の状態を指す。○リストランテⅡイタリア語でレストランを意味する単語。○ポローニャ人Ⅱイタリア北部の都市ポローニャに住む人々。○タリーラント人Ⅱイタリア南部の都市タリーラントに住む人々。○北摂箕面Ⅱ北摂は北部摂津の意味で、現在の大阪府北部から兵庫県南東部あたりの地名。箕面はその中の大阪府の一都市。○藜酢Ⅱタデの葉をすってまぜた合わせ酢。○ミシュランのガイドブックⅡフランスのタイヤ製造会社ミシュランが発行している旅行ガイドブック。世界中のレストランの格付けで知られている。

英語	日本史	世界史	政治・経済	数(文系型)学	数(理系型)学	物理	化学	生物	正解・正解例 講評	国語
----	-----	-----	-------	---------	---------	----	----	----	-----------	----

問一 傍線部⑦～⑨にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。  
解答番号 1 4



問二 空欄 X と Y を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

- 解答番号 5
- ① X 疎い Y 自立
  - ② X 乏しい Y 活躍
  - ③ X 詳しい Y 定着
  - ④ X 弱い Y 永続

問三 傍線部①「日本料理」という言葉を会話にのぼらせることがほとんどなかった」とありますが、その理由を説明したのとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 6

- ① 筆者が出雲人と大阪人を両親に持ち、幼少時から京都の親戚のもとに遊びつつ、東京で勉学を重ねるといふ特殊な体験をしてきた日本人だから。
- ② 筆者にとつて大事なのは、あまりおいしくもない一般化された日本料理ではなく、出雲の蕎麦や大阪鮎のような美味でローカルなものの方だから。
- ③ 筆者は日本料理という大きな枠組みではなく、地方料理や郷土料理という小さな枠組みの中で、自分の食べてきた様々な料理を認識しているから。
- ④ 筆者にとつては、大阪のバッテラや蒸し鮎、近江の鮎鮎も、「日本料理」を代表するファーストフードである SUSHI. の中の欠かせない部分だから。

問四 傍線部②「他者の眼差しによって形成された食の体系」に明らかに当てはまらないものを一つ選びなさい。

解答番号 7

- ① 筆者が体験した、カッドンや、アソーテッド・マキモノや、ミソスープとして海外の日本料理店では出されている料理。
- ② イタリア以外の国の料理店では出されているイタリア料理や、ロシア以外の国の料理店では出されているロシア料理。
- ③ 日本国内の料理店では出されることがなく、海外の日本料理店のメニューだけに載っている日本料理。
- ④ 地方色や季節感が消滅し、料理のハレとケの区別も無視されてしまった、現代の日本で流行している安っぽい料理。

問五 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 8

- ① A 取り組ませて B 流行
- ② A 向かわせて B 無用
- ③ A 急がせて B 最新
- ④ A 走らせて B 虚構

問六 傍線部③「わたしは微笑ましい共感を感じた」とありますが、その理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 9

- ① 一般の日本人がそうであるのと同じように、多くのイタリア人は食に関してきわめて保守的で、自分たちの地方の料理以外にはなかなか手を伸ばさずとしないから。
- ② 筆者が京風の味付けや東京下町の醤油味にこだわりがあるのと同じように、イタリア人は地方色のある料理を持っている、そのことに頑固な誇りを感じていたから。
- ③ 筆者がいつも食べている出雲の蕎麦や大阪鮎と同じように、本物のヴェネツィア料理やポローニャ料理やシチリア料理は、誰もが納得するような素晴らしい味だから。
- ④ イタリアに留学したことで、筆者は「イタリア料理」を掲げるレストランが少ないことに気づき、食に対するその頑固さがイタリア料理の魅力であることを理解したから。

問七 傍線部④「日本料理という統合的でイデオロギー的な範疇」に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 10

- ① 日本中に泡粒のごとく点在しているあまたの地方料理を、消滅に到らしめてしまう可能性のあるもの。
- ② 人為的な規範を元に作られていて、その規範に基づいて正統性を権威づける方向に働く性質を持つもの。
- ③ 観光主義によって単純化された一般的な料理の中に、あらゆる地方料理を回収してしまうようなもの。
- ④ 外食産業における味覚と素材の統一化を進行させたり、家庭料理のレシピをより保守化させたりするもの。

問八 傍線部⑤「平然と」に表された筆者の感情として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 11

- ① 有名な料理店で自分の食べ慣れたものが出されなくなったことへの落胆。
- ② 有名な料理店が当然とされてきた習慣を守っていないことへの非難。
- ③ 有名な料理店でも日本料理の伝統が途絶えてしまったことへの諦め。
- ④ 有名な料理店が新しい素材の組み合わせに挑戦していることへの驚き。

問九 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 12

- ① 日本料理というものは諸外国の料理との差異を前提として生み出された概念であつて、実はもともと存在していたわけではない。
- ② 料理というものは特にステレオタイプとして機能する記号なので、あらゆる料理は単純化と抽象化を必然的に体験することになる。
- ③ 筆者はイタリアに留学することによって、幼少時より自分が親しんできた日本料理に対する誇りを持つことができるようになった。
- ④ 日本料理の国際的な評価をさらに高めて、より多くの観光客がさまざまな地方料理を楽しめるようにしていかなければならない。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、原文を改変した箇所があります。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(今野真二「日本語と漢字——正書法がないことばの歴史」による)

〔注〕 ○ラテン文字⇨ローマ字のこと。 ○『万葉集』⇨現存最古の和歌集。七五九年以後成立。漢字だけを使って書き記した和歌を約四五〇〇首収録している。 ○葛城山⇨奈良県と大阪府の境、金剛山地にある山。 ○亀井孝⇨言語学者、国語学者。日本語の音韻史を中心に研究を行った。一九二二—一九九五。

問一 傍線部①「そういうこと」が指し示す内容として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 朝鮮半島でハンゲルが生まれたのは十五世紀であるが、日本はその間にひらがなだけでなくカタカナをうみだしていたということ。
- ② 朝鮮半島においてハンゲルが成立した時期を考えると、日本において漢字から仮名がうみだされるのにかかった時間は短かったということ。
- ③ 日本も朝鮮半島も当初は漢字を使い、「漢字文化」を享受することで、早くから漢字を用いた書物が成立していたということ。
- ④ 『万葉集』が成立した八世紀の時点では、日本語を漢字によって文字化するための懸命な努力をしていた形跡があったということ。

問二 傍線部②「『万葉集』にはこうしたいわは「余裕」が随所にみられる」とありますが、「余裕」を持たない理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 『万葉集』が成立した八世紀の時点で「漢字によって日本語を文字化する」ことが高い水準に達しており、漢字を自在に使いこなすことができたため。
- ② 『古事記』『日本書紀』によって試行錯誤された「漢字によって日本語を文字化する」ということが、『万葉集』において一つの到達をみたため。
- ③ 五・七・五・七・七という「定型」が生まれたことで、『万葉集』における「漢字によって日本語を文字化する」ということが成り立つようになったため。
- ④ 『万葉集』には「漢字によって日本語を文字化する」類歌が数多く作られており、そこから韻をふんだ漢詩を作ることが容易だったため。

問三 傍線部③「和歌でなく『散文』であつたとしたら、どのような日本語を文字化したものかという推測はかなり困難になる」とありますが、筆者がそう考える理由として、明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 「散文」だと、「和歌」のように類歌や類似表現を探し出して、それを手がかりに推測することが難しいため。
- ② 「散文」だと、五拍や七拍という拍数を手がかりにして日本語を推測することが難しいため。
- ③ 「和歌」だと、「定型」を使って表現することによって、歌の意味を伝えやすくすることができるため。
- ④ 「和歌」だと、「漢語を使わない」という原則を適用して文字化された日本語を推測することができるため。

問四 傍線部④「よめるけどヨメない」とありますが、「よめる」「ヨメない」を本文に即して説明したものととして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 『万葉集』に「立座妹念」とあれば、日本語としての意味は理解できるが、実際にどのような日本語の形であったかは確認できないということ。
- ② 『万葉集』に「春楊」とあれば、日本語の「春」と「柳」を組み合わせた意味であることは推測できるが、中国語と同じ意味であるかどうかは確認できないということ。
- ③ 中国語でも日本語でも「丘」は「四方が小山に囲まれた高台」という語義であるが、両者の発音がびつたり一致するものであるかどうかは確認できないということ。
- ④ 中国語での「岡」は「高い所」という語義であるが、日本語を文字化した「岡」の具体的な語義は確認できないということ。

問五 傍線部⑤「漢字を使って日本語を文字化しよう」とすると、何らかの「ずれ」を生じるとありますが、筆者の考えと合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 17

- ① 漢字によって日本語を文字化する際に「ずれ」が生じるとは、現代日本語母語話者にとっては偶然のことであるが、「万葉集」時代の人にとっては必然のことであった。
② 漢字によって日本語を文字化することは、中国語を日本語に翻訳することであって、現代日本語母語話者より「万葉集」時代の人のほうが柔軟に運用していた。
③ 漢字のみを使って日本語を文字化する際に「ずれ」が生じるとは認めるしかないが、その解消に向けて努力することは必要である。
④ 漢字のみを使って日本語を文字化する際に「ずれ」が生じるとは、「万葉集」時代の人にとっては当たり前のことで、彼らはむしろ内容を表現することを重視していた。

問六 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① A とところが B そのうえ
② A したがって B しかし
③ A ゆえに B したがって
④ A しかし B けれども

問七 傍線部⑥「『微調整』をして日本語側に少し引き戻す必要がある」の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

- ① 漢字だけで表現しきれない部分を補うために、表音文字の仮名を使用して日本語の語形を整えなければならないということ。
② 漢字によって日本語を文字化することで、中国語で書かれた文章でも手直しせずに日本語の文章として成立させることができるということ。
③ 仮名が漢字に影響を与えることによって、中国語で使う漢字の意味を日本語で使う漢字の意味に変えることができるということ。
④ 仮名だけで書かれた文献は、日本語として読みにくいので、少しは漢字を使わなければならないということ。

問八 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 20

- ① 「古事記」などがすでに成立していた八世紀の時点では、仮名のようなものが必要であるという「日本語内部での圧力」が日本国内でたかまっていた。
② 漢字から仮名がうみだされる前もその後も、漢字は「文字化の主体」であり続けた。
③ 中国語と日本語は言語が異なっているため、漢字を使って日本語を翻訳すると、日本語寄りの翻訳になる。
④ 表音文字である漢字を使って日本語を文字化することは、日本語を中国語に「翻訳」することに近い。

(三) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、田舎人の徳ありけるが一人女、いみじくかなしくける父母亡くなりて、頼りなく、術なくなりて、多かりし使ひ人もみな行き散りて、心細くわびびりて過ぐるほどに、二十にも余りて、やうやう盛り過ぎ、懸想する人もあまたあれど、(中略) 親の作りまゐらせたる親音のおはします御前に参りて、「助けさせ給へ」と申しつつ、そればかりをたのむことにはしける。津の国の輪田といふ所に住みけるに、ただ一人、食ひ物もなく、あさましくてゐるに、泣く泣く親音の御前に参りて、身の事を申し寝たる夢に、「まことにいとほしく思ひます。頼りになるべき者は、召しに遣はしつ」と見て、頼もしく思ひてゐるほどに、人来て宿借る。「とく居よ」とて貸しつ。見れば、三十余ばかりなる五位の、いみじく徳ありげなり。人多く具して宿りぬ。我は奥に入りて隠れ居たるに、物食ひなどして、家主がもおこせ訪ふに、人ありげもなかりければ、「頼りなげなる人にこそ」といとはしく思ひて、やをらのぞきければ、みよき女房のただ一人ありければ、「語らひてむ」と思ひて、「そのみこそは候へ。少し近く寄せ給へ。何事も頼みまゐらせむ」など言ひ寄りて、その夜あひにけり。

さて、まことしうといはしくおほえにければ、「妻にして、具してゐたる所へ来」など言ひて、明けぬれば、物どもしたためて、その日はあて、この女房にも言ひ語らひ、(中略) 晩に奥の郡に沙汰すべきことありて過ぎぬ。越前の国より来たる人なりけり。「四五日はあらむ」と言ひ置きて、「そのほど、心変はらで待ち給へ」など、ねんごろに語らひて出づれば、女「言ふことまことならば、さてこそはあらめ。夢にも見えしかば、それを頼もしく思ひて、待つほどははかなし。

さて、「来たらちに、馬の草などにならむこそ心憂けれ。あまりかく不都合なこそ、心にくは思ふまじけれど、おのづからつゆのこともなき主こそあらめ、世の人などの思はむことよ」と思へど、かなふまじければ、棧敷のあるよりさし出でて、心ゆかしと見れば、としごろ使ひし女ばらの、今は侮りて寄りつかぬが、大路井を汲みて立てるをや、「おのれ有りけるは。など見えぬぞ。来かし」と言はれて、「まことにおろかにも思ひまゐらせねど、え参らず。急ぎ候ひて」と言ひながら来たり。「頼りなくてかくてゐるに、あはぬことなれど、今三三日のほど、馬の草の少し欲しき。くれてむぎ」と言へば、「やすく候ふ事

まゐらせてむ。頼り取らせ給ひて候ふか。さらば、それならぬことしてまゐらせても。いかでか」など言ひて、草、期もなく持て来、食ひ物などさまざま持て来て置きたり。(中略) 男帰来たり。人もなく、術なげなりしに、物もあり、女もあれば、従者ども「よし」と見けり。

さて、三日ばかりありて、出で立ちて具して行く。この女、さまざま物ども多く持て来れば、「いかに、かくあまりはするぞ。かたはらいたく」と言はれて、「月ごろ参らぬことだに候ふ。いかでか」とて、晩まで出だし立つ。中略「この女、かくあはれにあたるに、むげにすることのなき、いとほし」と思ひて、色きよらに、よき袴の新しき、残して持たりけるを、「形見にもせよ(中略) など言ひて取らするを、取らず。「旅にては見苦しくおはしますむ。たてまつりてこそおはしますまめ。あるまじきこと」とて、さらに取らぬを、「口惜しく、形見にも見よかし。同じ心にはなき」と言はれて取りつ。

よにあはれに言ひ契りて、「出づ」とて、「まこと、私の御前に参りて、申さむ」とて、つとめて参りたれば、昨夜女に取らせし袴を御前に置かせ給ひて、少し御膝の上に引き懸けてこそ見えさせ給ひたりけれ。女に委じて日ごろ歩かせ給ひ、物ども賜ひなどせさせ給ひける。世にあさましく、悲しく、臥し転び泣きても、あまりぞ有りける。

(古今説話集)による

- (注) ① 親音 親世菩薩。あらゆる人々の苦しみの声を聞き、ただちに救うとされる菩薩。 ② 津の国の輪田 現在の兵庫県神戸市の神戸港のあたり。 ③ 五位 ここでは、地方豪族としては最高の官位を持っている有力者という意味。 ④ 家主がもおこせ訪ふに 家主の女のもとにも食べ物をすすめるに來たが。 ⑤ 物どもしたためて 食事をして。 ⑥ 越前の国 現在の福井県の北部のあたり。 ⑦ 不合 負欠。 ⑧ つゆのこともなき主こそあらめ ⑨ 少しのことでもできない主人がいるだろうか。 ⑩ 棧敷 外を見るために少し高くして、外に突き出した造りにした床のこと。 ⑪ 大路井 町の中にある共同の井戸。 ⑫ この女、さまざま物ども多く持て来れば ⑬ 「この女」は侍女のこと。

問一 傍線部①「かなしくける父母」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① 経済的に豊かだった父母
- ② 娘を悲しませていた父母
- ③ 娘が心配をかけていた父母
- ④ 娘をかわいがっていた父母

問二 傍線部②「頼りなげなる人」と同じ人物を指すものとして、最も適当なものを、本文中の波線部a~dのうちから一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① a 人々来て宿借る
- ② b 人多く具して
- ③ c この女房にも言ひ語らひ
- ④ d 男婦り来たり

問三 傍線部③「具してゐたる所へ来」の「来」の活用形はどれですか。最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 23

- ① 終止形
- ② 連体形
- ③ 已然形
- ④ 命令形

問四 傍線部④「あまりかく不合なるこそ、心にくくは思ふまじけれど」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 24

- ① このようにひどく貧しい暮らしぶりでは、男の従者たちにも相手にされないだろうが
- ② このようにひどく貧しくても、自らの運命を呪うようなことはしないけれど
- ③ このようにひどく貧しい暮らしぶりであることを、男は気にしないであろうが
- ④ このようにひどく貧しい暮らしぶりを、自分は気にしていないけれど

問五 傍線部⑤「かたはらいたく」とありますが、そう思った理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 25

- ① 侍女が自分のことを侮っていることを知っていたから。
- ② 侍女がつくしてくれているのに、何もしてやれないから。
- ③ 侍女が理由も言わず、何か月も女の屋敷に來なかつたから。
- ④ 侍女の持つて來た馬の草が、ほとんど残つてしまつたから。

問六 傍線部⑥「たてまつりてこそおはしまさぬ」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 26

- ① 旅行中には、ぜひとも袴をお召しになつていらつしゃつてくださいます。
- ② だからこそ、あなたにこの袴を献上したのですよ。
- ③ あなたの代わりに、必ず観音様にお伝え申し上げます。
- ④ 観音様には、たくさんの品々をお供え申し上げたではありませんか。

問七 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 27

- ① 両親を失い、経済的にも逼迫した女は、ひたすら観世音菩薩に祈ることを心の支えにして生きていた。観世音菩薩は、女の悲痛な苦しみや声の聞こえどけ、裕福な男に姿を変えて女の家を訪れた。
- ② 男は、女に求婚した後、結婚の準備を整えるため越前の国に帰った。出家の朝には、四日か五日で輪田に戻ると言い置きながら、三日後には戻つてきて、女と侍女を連れて越前の国へと旅立つことになった。
- ③ 女は以前侍女だった女を懐疑かけたので、声をかけた。するとその女は、再び侍女として仕えるようになり、馬の草の調達のみならず、美しい色の袴までも用意してくれた。
- ④ 観世音菩薩は、祈る女のために侍女に姿を変え、あちこち奔走し、いろいろな物を下まつたのだった。観世音菩薩の慈悲は、本当に驚くべきものである。

問八 この文章は「古本説話集」の一節ですが、「古本説話集」とジャンルの異なる作品として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 28

- ① 『兎心集』
- ② 『無名抄』
- ③ 『宇治拾遺物語』
- ④ 『今昔物語集』